

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	住宅課長	近藤 裕二
都整-25	重点事業	市営住宅集約化事業	■ 自治事務	主管課 住宅課
			□ 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	住宅・住環境	施策の方針	鎌倉らしい住まいづくり

1 事業の目的

対象	市民等
意図	公共施設再編計画に基づき、老朽化した市営住宅の集約・建て替えを行うため。
効果	市営住宅入居者が安心して住める居住環境を確保する。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・集約候補地の深沢クリーンセンター用地の土壤汚染調査を実施した。 ・PFI等民間活力を活用した事業手法や導入の可能性について検討した基本計画を策定した。 ・入居者や地域の方々に事業についての説明を行うとともに、住宅ニュースを作成・配付し、市営住宅集約化計画の概要について周知した。 ・老朽化が最も進んでいる植木住宅入居者について早期移転にむけて調整を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)		12,941		当初予算(千円)	27,007		
	国県支出金		6,093		国県支出金	12,090		
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源		6,848		一般財源	14,917		
事業経費運営	人員配置数		1.0		人員配置数	1.0		
	人件費(千円)	0	7,615		人件費(千円)	8,044		
	総事業費(千円)	0	20,556		総事業費(千円)	35,051		
	市民1人当りの経費(円)		116		市民1人当りの経費(円)	199		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
		△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
		△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	今後、事業者選定、設計、工事、入居者移転と事業を進めることとなるが、設計・工事により事業費が拡大するため。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> ・低額所得者、高齢者、障害者等も真に住宅確保に困窮する世帯へのセーフティネットとして公営住宅を継続して供給する必要があるため、老朽化が進む市営住宅の建替えを計画的に推進するものである。 ・市営住宅集約化により、土地の有効活用、施設の健全化や維持管理コストの抑制を進める。 ・次期基本計画期間中に施設の設計・工事が進められる予定であることから、事業費の拡大が見込まれる。
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・集約化候補地について住宅整備用地への適性を確認するため、土壌汚染調査を実施する。 ・住戸数や位置に係る整備シミュレーション、PFI等民間活力の活用を前提に事業手法の検討を行う。 	
課題解決のために行った平成29年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・集約化候補地である笹田住宅及び深沢クリーンセンターについて土壌汚染調査を実施した。 ・整備シミュレーションや事業手法の検討を行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者選定に向け実施方針や要求水準書を作成し公表する。 ・整備する施設について地域の方々と連携を図りながら検討する。 ・入居者の移転を強いることになるところから、入居者への丁寧な説明を行うとともに、意見の聴取を実施する。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	個別施設の整備事業であるため、他市との比較をすることは適当ではないと考える。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	事業の進捗状況を管理する。					単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	1、基本計画策定：1/3 2、実施方針公表：1/3 3、事業者選定：1/3		
事業を計画的に進めていくため。	目標値	-	-	-	33.0	66.0	100.0			
	実績値	-	-	-	33.0					
	達成率	-	-	-	100.0%					

指標の内容	入居者に周知するとともに、適宜説明会、意見交換、アンケートを行う。					単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
入居者の理解を得ながら、事業を進めていく必要があるため。	目標値	-	-	-	2.0	2.0	2.0			
	実績値	-	-	-	2.0					
	達成率	-	-	-	100.0%					

指標の内容	地域の方々に周知するとともに、適宜説明会や意見交換を行う。					単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
地域の方々の理解を得ながら、事業を進めていく必要があるため。	目標値	-	-	-	2.0	2.0	2.0			
	実績値	-	-	-	2.0					
	達成率	-	-	-	100.0%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	入居者や地域の方々と調整を図りながら、計画的に事業を推進する必要があることから、それぞれの課題について指標を設定する。
-----------------------	---